

Top Message

冬場から蔓延している新型コロナウイルスの影響でわれわれの活動は停滞し、これが長期化するものと思われます。伝染病ですから他人との接触をできるだけ避け隔離された生活を送ることが求められます。4月からの政府の「緊急事態宣言」で経済活動が停止に近い状態にあります。

当社はここ数十年の間でも「リーマンショック」と「東日本大震災」の影響で生産活動の一時的な停止を経験しましたが、今回の場合は全地球的（グローバルな）災害であり当社の展開している全ての国で同様の事態に陥っています。二度のショックとの違いはまだまだ底が見えない現在進行形であると思えることです。まさに戦争状態にあると気を引き締めて粘り強く対応していくことを心がけています。

新型コロナウイルスの問題が突発的に生じた事態とすれば、本報告書で取り上げているのはグローバルなアルミリサイクルでの大きな変化、それに沿って当社グループが如何に対応しているかという点です。以前の報告書でも度々取り上げていますが、都市鉱山としてのスクラップ資源（破碎非鉄金属屑—ゾルバ）に対する評価が中国発で大きく揺らぎその結果パラダイムシフトが生じています。課題は先進国での資源を地球規模でどのように効果的に回収し再利用するかです。基本モデルは中国で開発展開されてきましたがここ数年の中国の環境意識の大きな変化でその事業が新興国（当社でいえば東南アジアやインド）に移転されつつあります。

資源を持たないが豊富な労働力を有する新興国での「低コスト原料の洗練された低コスト加工」はまだまだ成長する世界のアルミ合金需要を支えて行くものであると確信します。「大洪水のあと」に期待して健康・安全に留意しこの非常時を乗り切りたいと考えています。



代表取締役社長

山本隆章